

編集 後記

編集顧問 町田豊平
郡 健二郎
編集委員 大家基嗣

小川秋實 秋元成太 村井 勝
藤岡知昭
近藤幸尋 小島祥敬

10月から、中国・武漢大学人民医院の3名の医師が、大学間国際交流として福島県立医科大学に留学しています。そのうち1名が、昨年と同様泌尿器科学講座に配属となりました。約2か月間日本に滞在し、手術を見学していきます。私たちより英語を流暢に話すので、医局員に大きな刺激になればと楽しみにしています。彼の病院は、私たちの病院よりはるかに大きな病院で手術件数も多いようですが、手術の多くは尿路結石で、前立腺癌は少ないようです。したがって、ロボット支援手術が新鮮に映るようで、熱心に見学しています。彼にとって充実した2か月間になればと思っています。

文部科学省のホームページによると、2011年の日本人の海外留学人数は、57,501人と集計しています。2004年の82,945人をピークに減少の一途をたどり、対前年比においても559人(約1.0%)減、ピーク時に比べ約30%減少しています。海外留学人数減少の原因は、①少子化、②国内の大学の国際化、③インターネットの普及などが考えられています。しかし、最も危惧されることとして、最近の若者が「内向き志向」になっており、それが海外留学減少の原因の1つとなっているとの指摘です。

海外留学の目的は、①高い臨床・研究レベルに触れること、②語学力の向上、③国際理解、④社会経験や人間的成長などが挙げられると思います。私ごとで恐縮ですが、2008年にロボット支援手術の勉強のため、

米国に留学しました。私が留学して得ることができたことの1つは、高い臨床レベルに触れたことで、現在の医療に活かされています。しかし、それ以上に得られたことは、幅広い人間関係を構築することができたことだと思っています。留学先のスタッフとはもちろんのこと、当時のレジデント達とも、いまだにメールでやりとりをし、国際学会に行けば必ず一緒に食事をします。私の拙い英語を一生懸命聞いてくれ、理解してくれようとしています。臨床や研究のこののみならず、さまざまな情報を共有することができます。そしてそういったつながりは、その後も自然と広がり、私にとっての大きな財産となっています。

私たちの教室では、毎年6月に研修医や学生を対象とした、「研修医・医学生のための泌尿器科プライマリケアと腹腔鏡セミナー」を行っています。この3年間、私がショートレクチャーを担当して、泌尿器科の魅力を伝えるように努めてきたのですが、今年のタイトルは、「留学・研究のすゝめ」としました。私の基礎研究(国内留学)や海外留学の経験を、少しでも若い研修医や学生に感じてもらいたかったからです。価値観が多様化している今日の複雑な社会において、必ずしも海外に留学することがよいとは言えないのかもしれませんが、ただ、未来を担う若い先生方には、ぜひとも「外向き志向」で、海外で広い意味での武者修行をして、多くのことを学び、将来に役立ててほしいと切に願っています。(小島祥敬)

臨床泌尿器科 (第68巻 第13号) (通巻819号)
2014年12月20日発行 (毎月1回20日発行)

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

定価：本体2,800円+税

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5709

(担当：金子・安部)

販売部直通 (03) 3817-5659

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

2014 年年間購読料 (増刊号を含む 13 冊, 税込, 送料小
社負担)
冊子版 42,970 円 冊子+電子版/個人 47,970 円
電子版/個人 42,970 円 冊子+電子版/共有 54,400 円
電子版/共有 49,400 円

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2014. Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複製・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・ 本誌を無断で複製する行為(複製, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** <(株)出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に, (株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

*「臨床泌尿器科」は株式会社医学書院の登録商標です。